

2017年8月13日（日） 週報 巻頭言

「平和を願って」

今から76年前の1941年12月8日に日本軍は米軍太平洋艦隊の基地であるハワイ真珠湾を奇襲攻撃しました。太平洋戦争の始まりです。4年続きましたが、1940年に「日独伊三国同盟」を結んでいたイタリアは43年9月に無条件降伏し、45年5月にはドイツが無条件降伏しました。残るのは日本です。45年7月26日にアメリカ、イギリス、中国（中華民国）の三国より「ポツダム宣言」（米・英・中三国宣言・降伏勧告）が日本へ提示されました。主な条件は「日本軍隊の無条件降伏」「軍国主義の除去」「平和産業の確保」「戦争犯罪人の処罰」等でした。

ところが当時の鈴木貫太郎首相は7月28日に会見を行い、「政府としてはなんら重大な価値あるものとは思わない。ただ黙殺するのみである」と発言したのです。

この「黙殺」という発言が、「完全に無視」（同盟通信）、「拒否」（AP 通信）と翻訳されて世界へ報道されたのでした。

もし、「黙殺」しないで、ポツダム宣言を受け入れておれば「広島」も「長崎」もなかったのかもしれませんが。「戦争をやめる」ことの困難は今でも同じのようです。

（山下誠也）